

# 平成29年度事業報告書

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

公益財団法人大平正芳記念財団

## I. 事業活動の概要

公益財団法人として、3つの公益事業「環太平洋学術研究奨励事業」、「北京日本学  
研究センターとの共同事業」、並びに「当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業」  
に関し、個々事業の公益性と運営の効率化に留意しつつ、例年事業について着実に遂行  
するとともに、スポット案件についての的確に対応した。

### 1. 環太平洋学術研究奨励事業

[1] 第33回大平正芳記念賞5件

クリスタル牌

賞金 450万円

[2] 第31回学術研究助成費 該当者無し

平成29年6月12日に上記の授賞式を如水会館で行った。

### 2. 北京日本学術研究センターとの共同事業

平成29年11月8日(水) 11:00～

於: 北京日本学術研究センター 多目的ホール

(1) 「第十三回日本語優秀学位論文大会」表彰式

表彰式に先立ち、当財団を代表して、大平 知範理事長が挨拶を行った。

内容については、本報告書5頁に収録を参照。

多くの応募者の中から、次の6名に賞状と記念品の授与を行った。

名前	論文テーマ
魏蕾	「生きてゐる兵隊」初出版本及び同時代の中国語訳本に関する研究
張尋	中国人日本語専攻大学生の異文化感受性とその影響要因 —属性、多文化経験、価値観の観点から—

馬東旭	字音接尾辞「式、風、流」に関する比較研究
宋雨蔓	第二の近代における日本家族の世代関係変化に関する社会学的研究
唐婉秋	中日地方人形芝居の比較に見る信仰の差異
王聡	デザイン・ドリブン・イノベーションのプロセスに関する考察

(2) 名著翻訳事業 発刊式

『大平正芳—理念と外交—』(服部龍二著・岩波書店)の中国語版

3. 当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業

(1) 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット及び「大平正芳記念財団レポート」発行事業

①「大平正芳記念財団の事業」パンフレットの発行

ア. 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット

イ. 「大平正芳記念財団の事業活動」(平成 29 年 6 月から同 30 年 5 月まで)パンフレットに掲載

②「大平正芳記念財団レポート」第35号の発行

(2) 中国人民対外友好協会・中日友好協会主催

中日国交正常化 45 周年記念レセプション(平成 29 年 9 月 8 日)

大平知範理事長、海野哲寿事務局長出席

(3) その他

①マスコミ取材対応

・平成29年7月22日 岸田外務大臣「大平正芳記念館」来館マスコミ各社

・平成29年8月4日 『人民中国』日中国交正常化 45 周年版  
大平裕理事「証言と提言」掲載

・平成30年2月9日 中国ネット新聞「財新」TPPと環太平洋連帯構想

②平成29年8月 大平文書データベース・アーカイブ契約 丸善雄松堂

③平成30年2月 30周年記念出版『21世紀を創る』電子出版化 PHP 研究所

④財団所蔵写真等貸与対応等

・平成29年9月 大坂毎日放送『魔法のレストラン』写真提供

・平成29年9月 観音寺一高同窓会誌掲載写真提供

- ・平成29年10月 観音寺市商工観光課 市 HP 使用記念館データ提供
- ・平成29年11月 スエーデン大使館 国交樹立150周年  
「最初の外務大臣訪問・大平正芳」写真提供
- ・平成29年12月 週刊現代・年末年始号「著名人の直筆手紙」  
大平正芳から恩師への手紙(最後の手紙)記事、写真提供
- ・平成30年1月 フジテレビ「加藤浩次 VS 政治家」資料提供

④FACEBOOKで情報発信開始

## II 本年度中の主な庶務事項

### 1. 理事会・評議員会

(1)平成29年5月25日開催 臨時理事会(決議の省略(書面表決))

- ①平成28年度事業報告案及び収支決算案承認の件
- ②内閣総理大臣(内閣府大臣官房公益法人行政担当室)宛定期提出書類案  
(平成28年度事業報告及び収支決算に係る)承認の件
- ③定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等決定の件

(2)平成29年6月12日開催 通常理事会、定時評議員会

- ①平成28年度事業報告案及び収支決算案承認の件(評議員会マター)
- ②内閣府宛定期提出書類案承認の件
- ③特定寄附金募集承認の件(理事会マター)

(3)平成30年2月26日開催 臨時理事会

- ①評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等決定の件

(4)平成30年3月23日開催 通常理事会、臨時評議員会

- ①平成30年度事業計画案及び収支予算案承認の件

### 2. 運営・選定委員会

本年度中に計4回開催し、第34回大平正芳記念賞・第32回学術研究助成費授賞者を決定した。ただし学術研究助成費は該当者無し。

なお、第6回鈴木 三樹之助記念・岩手大学大学院奨学金支給に関して、応募者はなかった。

### 3. 主務官庁関係事項

平成29年6月29日、内閣総理大臣(内閣府大臣官房公益法人行政担当室)

宛に、平成28年度事業報告及び収支決算に係る、定期提出書類の届出を行った。

平成29年7月5日 内閣総理大臣(内閣府大臣官房公益法人行政担当室)宛に、履歴事項全部証明書の届出を行った。

平成30年2月8日 役員変更届けを行った。

平成30年2月23日 税額控除に係る証明申請を行った。

平成30年3月29日、内閣府公益法人行政担当宛に、平成30年度事業計画及び収支予算に係る、定期提出書類の届出を行った。

## 平成29年度事業報告書の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項」に規定する、事業報告の内容を補足する重要な事項はないことから、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第123条」に定める、平成29年度事業報告書の付属明細書に記載する事項はありません。

2017年度 日本語優秀学位論文表彰式、日本学術名著発刊式 御挨拶

大平正芳記念財団 理事 大平 知範

2017.11.8

只今ご紹介にあずかりました大平正芳記念財団理事長の大平知範でございます。財団を代表し一言ご挨拶申し上げます。

本年は祖父が外務大臣としてかかわった日中国交正常化が調印されて 45 周年にあたります。

また、祖父は、1979 年 12 月、亡くなる 6 カ月前にあたりますが、3 回目の訪中、内閣総理大臣として初めての公式訪問をいたしました。それは、祖父の貴国への最後の旅となりましたが、すでに故人となられた周恩来総理との前 2 回の訪中で約束していたことを果たすための訪中であります。

そのための主要なテーマは、円借款と無償援助契約を締結し日中間の経済協力関係の確固たる基礎を築くことでしたが、ここでご注目頂きたいのは、それらのテーマに加え、大平正芳からのたつての提案により日中文化交流協定が結ばれたことでもあります。

その具体案の一つとして「日本語研修センター」の設立が提案され、それが「日本語教師研修班」＝「大平班」もしくは「大平学校」として成果をあげ、更には 1985 年に「北京日本語学研究センター」として発展的に再編され、今日の隆盛に至っていることでもあります。私ども大平正芳記念財団と致しましても、祖父の意思を受け継ぎ、大平文庫の寄贈、日本語優秀学位論文表彰・日本学術名著発刊等の共同事業を通じ、文化の交流に寄与してまいりました。

日本語優秀学位論文表彰は本年で 13 回目となります。また、本年は『大平正芳—理念と外交』の中国語版を日本学術名著として発刊いたします。大平正芳の業績を追うとともに背景の日本の政治の実態を知ってもらいたいと思っております。

今後も貴大学の更なる発展と、日本語学研究センターで学ばれている皆さんが日中友好の懸け橋になられるよう、微力ながらこれからもご支援を継続してまいり所存であります。

それでは、ご来賓の方々のご挨拶をいただいた後、全校より厳選された「日本語優秀学位論文」に対し、財団より表彰状を差し上げたいと存じます。受賞される方々のこれまでの研鑽に対し、心より敬意を表したいと存じます。

ありがとうございました。